

★ 次回の遺族会のお知らせ(10月31日・12月19日・名古屋市北生涯学習センターです)

13時開場、13時15分スタートです。地下鉄 名城線 「黒川」駅(4番出口) 下車 徒歩5分



4番出口の地上に、「リメンバー名古屋」という看板を持った案内係が立っていますので、

方角がわからないときはおたずねください。

※公共交通機関でお越しください。

※会場予約名は「リメンバー名古屋」となっています。

参加費は500円です。(以前は1000円でしたが、しばらくの間500円とさせていただきます。)

★ 望年会のお知らせ

12月19日(日)の遺族会終了後に”望”年会をします。

17時過ぎ頃から、遺族会会場近くで行う予定です。詳細が決まりましたらお知らせ致します。

## ★ リメンバー名古屋自死遺族の会 in 岡崎 のお知らせ

岡崎市内にて、遺族会を開催することが決定しました。

■日時・・・2010年12月5日（日）

午前中は、『自殺した子どもの親たち』の著者である若林一美氏の講演会、  
午後は、自死遺族当事者同士の分かち合いの会を行います。  
詳細は、同封のチラシをご覧ください。

## ★ 秋の遠足を行います

春と秋の遠足は毎年恒例となりました。参加のみなさまでどこかに出かけようというものです。  
つらいことは忘れて・・・ということではなく、参加者の方同士、少しでも親しくなり、遺族会以外でも支えあえる関係になればとの思いから行っています。

遺族会に参加したことのある方ならどなたでもご参加になれます。  
いつも遺族会でお会いするみなさまと、一日一緒にゆっくり過ごしませんか。

■2010年11月21日（日）午前 11:30～16:00 くらい

※雨天も実施

■行先：名古屋港水族館（地下鉄名城線 名古屋港駅より徒歩 10 分）

お昼ご飯をみんなで一緒に食べて、その後、水族館や公園などを散策しましょう。

■集合場所

11:30 頃 現地 待ち合わせ場所等の詳細はご参加の方にご連絡致します。

■参加費：

- ・交通費（各自）
- ・昼食代（各自）
- ・水族館に入館する場合は、入館料 2,000 円  
（65 歳以上の方は保険証や敬老手帳の提示で 1,000 円になります）

■参加申し込み先 リメンバー名古屋事務局  
（メール・ファックス・郵便等でお申し込みください）

お名前（ニックネーム可）、ご連絡先  
（メール、電話、FAX など。当日連絡できるものであれば助かります）、  
現地までの交通手段（車か、地下鉄か）をお知らせください。

■申し込み期限：11月11日（木）まで

■キャンセルについて：お申し込み後、キャンセルの方は、11月18日（木）までにご連絡くだ

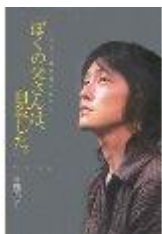
さい。

## ★ 冊子「自死遺族の手紙」原稿 最終締め切りのお知らせ

期限を延長して募集しておりました、冊子の原稿ですが、2010年10月末を持って、最終締め切りとさせていただきます。今書いていらっしゃる方は、多少延長はできますので、お早めにご相談ください。

## ★ リメンバー文庫

今回のリメンバー文庫で紹介する本は『ぼくの父さんは、自殺した。—その一言を語れる今—』（以下、『ぼくの父さん…』）と『自殺っていえなかった。』です。共に、あしなが育英会奨学生の遺児たちのドキュメンタリーと手記です。



『ぼくの父さん…』は、あしなが育英会OBの父親が亡くなる直前からあしなが育英会での活動回想を含めるドキュメンタリーです。『自殺っていえなかった。』は、あしなが育英会奨学生たちの手記や、それに先立ってあしなが育英会から冊子発行された『自殺っていけない』の反響や、あしなが育英会の活動の歴史から、遺児たちの現状までが載っています。

『ぼくの父さん…』は一人の遺児の視点から、一人のライターが日本の抱える自殺問題を提起しています。母親を離婚という形で早くにその存在を知ることなく、父親も中学生のときに自死で喪い、孤立無援となった主人公。「時間を潰すには、勉強をするしかなかった。」と語っています。この一言が、長男として残された彼の孤独をものがたって余りあるかと思います。同時に彼は国立大学へ進学し、あしなが育英会の活動に参加します。様々な出会いがあり、別れがあり、彼は一人の男性として自立します。その後の彼の人生が幸せなものであってほしい。一人一人の遺児もまたそうあってほしい。そう思える本です。



『自殺っていえなかった。』は手記集です。メインはあしなが育英会の奨学生の手記ですが、先立って出版された冊子の反響の中から、抜粋された手記などが載っています。一つ一つの手記が本当に悲しく、また孤独を感じさせるものです。もしかしたら、先回に紹介したあしなが育英会編『世界の遺児100人の夢』よりも涙を誘われてしまう一冊かもしれません。そこには自死というだけでずっとひた隠しにして生きてこなければならなかった、手記の主人公達の苦悶や慟哭があまりにも強いのです。

しかしながら、実名・素顔を明かして自死という問題に立ち向かっている、あしなが育英会の奨学生たちの勇気には本当に痛み入るものがあります。「ペンが剣よりも強し」という格言がありますが、書くことによって自死という問題に切り込んでいけると感じられる二冊です。遺族のメッセージ集や自死遺族の文集と一緒に読んでいただきたい作品です。

(A. S)

遺族会当日に、本の貸し出しを行っています。

最近、A. Sさんの選定してくださった本が追加になりました。

「リメンバー岡崎」で講演をしていただく若林一美さんの本も入荷しています。

## ★ 自死者追悼法要のご案内

〈他団体からのお知らせです〉

12月3日、東別院にて、自死者追悼法要が行われます。詳細は別紙をご覧ください。

ボランティアの僧侶の方々が、行ってくださるものです。

(布教を目的としたものではありませんのでご安心ください)

東別院で行われますが、超宗派で(いろいろな宗派のお坊さんが集まって)行ってくださるものです。

★連絡先、その他 .....

■電話：090-8544-9408 (応答メッセージのみ)

「この電話を転送します、そのままお待ちください。」というメッセージが流れ、応答メッセージにつながります。応答メッセージは1分間程度で、次回の遺族会の日時や場所などのご案内が流れます。

※電話をかけてくださった方からメッセージを録音することはできません。

※遺族会当日以外は、スタッフが電話をとることはありません。(普段は誰も出られないので、充電しておりません)

遺族会当日のみ、ボランティアスタッフが電話口にいます。「道がわからない!」「何時からスタートだったっけ?」というときに、お電話くださいね。

次回、電話開通時間は、10月31日(日)12:00~13:40

■eメール：remember\_nagoya@yahoo.co.jp

「remember」と「nagoya」の間の「 \_ 」は「 - 」(ハイフン)ではなく、「 \_ 」(アンダーバー)ですのでお間違えのないようお願い致します。

■FAX：020-4668-8925 ■郵便：〒458-8799 名古屋市緑郵便局留め

■りめーる：メールでのご連絡を希望される方には、2007年度より、yahooのメーリングリストの機能を利用した「りめーる」に登録させていただき、一斉配信させていただくことにしております。パソコン版りめーると携帯版りめーるがあります。配信を希望される方は、「〇〇版りめーる登録希望」と書いて、メールにてご連絡くださいませ。



## リメンバー名古屋自死遺族の会

〒458-8799 愛知県名古屋市緑郵便局留め

TEL:090-8544-9408 (応答メッセージのみ)

FAX:020-4668-8925

URL:<http://will.obi.ne.jp/remember/>

Eメール:remember\_nagoya@yahoo.co.jp